

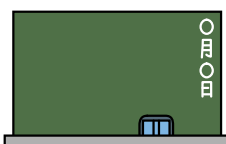
2025年度 小樽市立望洋台中学校

syllabus

～シラバス～

1年生

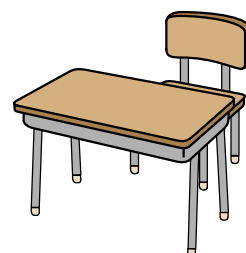




目次

1. シラバスとは	1
2. 学習のルール	
3. 定期テストについて	2
4. 評価について	3
5. 家庭学習について	
6. 手帳の活用について	4

国語	5
社会	7
数学	9
理科	11
英語	13
音楽	15
美術	17
保健	19
技術	21
家庭	22



1. シラバスとは

「シラバス (Syllabus)」とはギリシャ語に語源を持つ言葉で、「各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画」のことです。

望洋台中学校の「シラバス」は、教育目標である「唯一心」を実現するために、各教科・領域の学習において、

- ① 基礎・基本の定着と活用能力の育成
- ② 自ら学ぶ生徒の育成
- ③ 表現力(聞く・書く・話す)の育成
- ④ 基礎的・基本的の学力と学習習慣の定着

をめざし、1年間の授業の流れを見通して学習計画を作成しています。

シラバスを活用して、計画的・主体的に学習に取り組もう!

2. 学習のルール

授業前

- ① 次の授業準備をする。学習用具を机の上に準備する。
- ② トイレ・用事は休み時間のうちにすませる。
- ③ チャイムが鳴る前に着席し、静かに先生を待つ。

授業中

- ① 授業の始めと終わりは、はっきりと挨拶をする。
- ② 正しい姿勢で学習する。
- ③ 集中して学習活動(聞く・書く・話すなど)に取り組む。
- ④ Chromebook は指示があった時のみ使用する。

その他

- ① 提出物は必ず期限をまもる。
※間に合わない場合は、必ず教科の先生に報告する。
- ② 時間割・持ち物・宿題などを確認し、学習用具を忘れないように気をつける。
(手帳を活用しましょう)忘れ物をした場合は事前に教科担任に伝える。
- ③ 移動教室の場合は、遅れないように素早く移動する。

3. 定期テストについて

国語・数学・社会・理科・英語の5教科は、年に4回定期テストを実施します。定期テストはそれまでの学習の理解を確かめる機会です。また、テスト勉強の仕方や試験の受け方など、高校受験に向けて経験を積む機会でもあります。テスト範囲は2週間前に学級に掲示されますが、範囲が広いので直前の勉強だけでは間に合いません。日頃の学習の積み重ねが重要になってきます。シラバスの年間計画でおおよそのテスト範囲を確認し、計画的にテスト勉強を進めましょう。

〈今年度の実施予定日〉

1 学期期末テスト	6月13日（金）	
2 学期中間テスト	9月 4日（木）	
2 学期期末テスト	11月14日（金）	
学年末テスト	3年生→1月16日（金）	1・2年生→2月20日（金）

※欠席の場合、テスト返却時に受けることや家で取り組むこともあります。教科の先生と担任の先生に相談してください。ただし、結果については参考点とし、得点通知表のSSや順位には反映されません。

～テストに向けて～

- *手帳を活用してテストに向けての学習計画を立てましょう。
- *ワークの問題を早いうちに一度は解き、その後解き直しをしましょう。（理想は3回）
- *理解が不十分なところは、先生に質問して、テストまでに確かめておきましょう。
- *テスト前には **StudyTime**（学習会）が開催されます。積極的に参加しましょう。
- *テスト5日前（1学期末のみ3日前）からは部活動や放課後活動が中止になります。

テストの心得

- 休憩の時間に必ずトイレ、水飲みを済ませましょう。
 - テストが始まる5分前に予鈴がなります。席について先生を待ちましょう。
 - テスト中の貸し借りは一切できません。事前にしっかりと準備をしましょう。
 - 机の中に学習道具やプリントなどを入れておかず、空にしましょう。
 - カバンはイスの下か、教室の後ろに置きます。
 - 机の上には鉛筆（シャープペンシル）と消しゴム、定規、コンパスのみを置きます。
※ティッシュが必要な場合は、事前に担任または監督の先生に申し出ましょう。
 - 問題用紙等が配布されたら一切の私語はやめ、指示が出てから筆記用具を持ちましょう。
 - 開始のチャイムが鳴ったらプリントを表にし、クラス、番号、氏名を書いてから始めましょう。
 - 文字は、大きく、はっきり、ていねいに書きましょう。
 - 時間を意識し、必ず見直しをしましょう。
 - 筆記用具などを落としたときは、自分で拾わず手を挙げて監督の先生に伝えましょう。
 - 終わりのチャイムがなったら手を置きましょう。
 - テスト中に具合が悪くなった場合は監督の先生に申し出て、指示を受けましょう。
 - 不正行為（不正行為への協力）と思われるような行動は絶対にしてはいけません。
（カンニング、私語、横を向く、きよろきよろするといった行為、答案を見せるなど。）
 - 不正行為（答案用紙の書きかえ含む）があった時は、原則0点になります。
- ※問題用紙は、テストの返却時に必要になります。

4. 評価について ※各教科のガイダンスで確認しましょう。

<観点別評価> ※各観点ともに共通

- A 十分満足できると判断されるもの。(達成率70%以上)
- B おおむね満足できると判断されるもの。(達成率45%以上)
- C 努力を要すると判断されるもの。(達成率45%未満)

<5段階評定>

- 5 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの。(達成率85%以上)
- 4 十分満足できると判断されるもの。(達成率70%以上)
- 3 おおむね満足できると判断されるもの。(達成率45%以上)
- 2 努力を要すると判断されるもの。(達成率25%以上)
- 1 一層努力を要すると判断されるもの。(達成率25%未満)

5. 家庭学習について

中学校では、家庭学習(予習・復習)をする、しないが学力に大きく影響します。予習をすると授業についていきやすくなり、積極的に授業に臨めるようになります。また復習をすることで、「わかる・できる」の状態をキープし、次の段階にスムーズに向かうことができます。さらに、家庭学習をしていれば、テスト前に「何から手をつけていいかわからない!」とあせることもありません。当然、受験勉強も効率よくできるようになります。

●学習習慣づくりのポイント

- ①自分の生活パターンを把握し、自分ができる勉強パターンを決める。
※継続させることが大事なので、目標は最初から大きくしすぎない。
※勉強を始める時間は毎日同じ時間にする。
- ②毎日決まった時間になったら机に向かう。
- ③手帳を活用して勉強の記録をつける。
- ④うまくいかない時は、もう一度自分の生活パターンを見直し、家庭学習が継続できるように生活習慣を改善しましょう。

●1日の学習時間の目安

中学1年	80分以上
中学2年	90分以上
中学3年	100分以上

6. 手帳の活用について

一年後、二年後、皆さんはどんな力をつけたいですか？将来、どんな人になっていきたいですか？3年生になると、自分の将来に向けて進路を選択する時期がきます。そのとき大切なのが「自分の人生の進路を自分で決める」力です。何を選択するか、どう選択するかによって、結果は変わります。ここでいう結果は目標でもあります。

「目標を持ち、目標達成に向けて計画を立て、実行し、振り返って、さらに次の目標や計画、実行につなげていく。」この考え方を取り入れることで、自分自身を成長させていくことができます。そして、それは「自分の進路を自分で決める」力へとつながっていきます。

手帳を活用し、主体的に学校生活や学習にとりくむ力を身につけましょう。

～書けば書くほど、力がつく！でも、使い方は自分次第！～

まずは、手帳を開く習慣をつけましょう。持ち物は時間割の記入など、記入する項目をしぼってスタートしてみましょう。定期テストや小テストに向けて勉強の計画を立てたり、勉強時間を記録したりするのも良いでしょう。手帳の1～4ページの説明やガイドブック(「セルフマネジメントナビ」)、動画サイトを参考に、自分なりの使い方を工夫してみましょう。

【活用例】

- 持ち物、提出物、宿題、時間割、予定などの記入。
- 学習予定や勉強時間の記録。
- 一日の感想、振り返りの記入。
- テスト範囲やテスト計画の記入。テスト結果や振り返りの記入。
- 「今週の目標やテーマ」「今週のやること」などの記入。
- 将来に向けた目標やテーマ、なりたい姿を5ページに記入する。
- 夏休みや冬休みの計画の記入。

※毎週月曜日の「朝の活動」の時間は「手帳」の時間です。

①Plan (週間)
「その週に達成したいこと」や「やること」を書きます。

②Do 計画タイプ
事前に計画をたて、できたかチェックしていく方法

②Do 記録タイプ
実際の行動を記録していく方法

③Check (週間)
「今週のできたこと」「学んだこと」「もしもやり直すならどうするか」を書きます。

④Action (週間)
今週やったことを来週どうするか。この4つの観点で考えて書きます。
●続けることは？
●やめることは？
●加えることは？
●変えることは？

③check & Action (毎日)
その日の振り返りができます。まずは顔マークからでもOK!

振り返りのヒント！
この6つを自分自身に問いかけてみるというかも！
●なに(最初の問いかけ)
●それで(どうしたいのか)
●ということは(達成へどう動くのか)
※P103の例文を参考にしてみてくださいね！

第1学年 国語科

使用教材	教科書：「国語1」（光村図書） 「中学書写」（光村図書） 副教材： 「国語の学習1」（秀学社） 「漢字スキル1」（光村教育図書）	持ち物	・教科書 ノート 副教材 ・書写の道具 (教科書・道具・墨汁・半紙・新聞紙・ペットボトル)
学習の進め方	国語（日本語）をなぜ学ぶのか… 人は言葉を通して、物事や相手を理解し、自分の思いや考えを伝えます。たくさんの言葉を知ることで、より正しく、深く理解することができます。いろいろな言葉を知ることで、自分の思いや考えをしっかりと相手に届けることができます。自分の世界を広げ、周りの人とつながる言葉。その「言葉」を学ぶのが国語です。 1年生で目指すところ！ ・事柄や行為、心情を表す語句や表現を増やしましょう。 ・いろいろな情報を整理できるようになりましょう。 ・自分はどうか、なぜそう考えたか、筋道を立てて伝えられるようになりましょう。 国語学習の進め方 1、予習をする！ 教科書の音読や意味調べがおすすめです。ワークや漢字練習帳（漢字スキル）を利用するのも良いです。授業中の理解が深まります。 2、授業中は「聞く・話す・書く・読む」の活動を積極的に！ ・文章を読む時や話を聞くときは、書き手や話し手の意図を意識しましょう。 ・目的や場面に応じて相手に伝わるような言葉遣いや話し方を意識しましょう。 ・黒板を写すだけでなく、大事ななどと思ったところはメモをとりましょう。授業で使ったプリントなども貼って、テスト前などに確かめられるよう整理しましょう。 ・自分はどうか、なぜそう考えたかが伝わる書き方を工夫しましょう。 3、復習をする！ ワークや漢字練習帳（スキル）を利用しましょう。問題を解くことで、理解できているかを確認されます。間違った問題は答えを書き写し、テスト前に解き直しをするのもおすすめです。 4、さらに力をつけたい人は… 本や新聞の記事を読む習慣をつけましょう。また、普段から、しっかりと話を聞き、正しい言葉遣いで相手に伝わる話し方を心がけましょう。国語の力は普段の生活習慣が土台となります。		
注意事項	・説明をしっかりと聞き、すばやく活動に移り、課題は時間内に終わらせましょう。 ・課題や提出物の期限を守りましょう。（休んだ時の課題もそのままにせず、提出しましょう）		

年間計画・1年			
月	単元	教材	
4		朝のリレー	期末
	言葉に出会うために	野原はうたう・声を届ける	
		書き留める・続けてみよう	
5	学びをひらく	はじまりの風	
		言葉1・聞く・スピーチ・漢字1	
6	新しい視点で	ダイコンは大きな根?	期末
		ちょっと立ち止まって	
		情報・言葉2	
	言葉に立ち止まる	空の詩三編・言葉3	
		比喻で広がる言葉の世界	
7		文法1・語彙を豊かに	中間
	情報×SDGs	情報収集	
	いつも本はそばに	読書を楽しむ・本の中の中学生	
		読書案内・読書コラム	
8	心の動き	大人になれなかった弟たちに…	
9		星の花が降るころに	期末
10		案内文・推敲・言葉4・聞く・漢字2	
	筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	
11		思考・報告文・文法2・大阿蘇	
	いにしえの心にふれる	古典の世界・いろは歌	学年末
		竹取物語・今に生きる言葉	
12	価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す	
		思考・話し合い	
	いつも本はそばに	読書・読書案内	
	自分を見つめる	少年の日の思い出・文法3	
1		二十歳になった日・随筆	
2		漢字3・一年間の学びを振り返ろう	
3	振り返り	ぼくがここに	

評価		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	* これまでに学習した漢字を読み書きすることができるか。	授業中の課題 提出物(課題)
	* 日本語の特徴を理解し、日本語特有の語句・表現を味わうことができたか。	小テスト 漢字・書写
	* 字形・字の大きさ等を考え、読みやすく楷書・行書を書くことができたか。	音読・暗唱 定期テスト
思考・判断・表現	* 自分の考えをまとめ、明確にし、相手の立場を尊重して話すことができたか。	授業の課題 提出物(課題)
	* 相手の意図を考えながら聞き、話題や方向をとらえることができたか。	音読・暗唱 作文
	* 目的や意図に応じ、構成を考えた確かな表現で文章を書けたか。	小テスト 聞き取りテスト
	* 進んで文章を書き、考えをまとめようとすることができたか。	話し合い活動 定期テスト
	* 様々な文章を読み、内容や要旨を的確にとらえることができたか。	
主体的に学習に取り組む態度	* 読むことによってものの見方や考え方を広げることができたか。	
	* 積極的に自分の意見や考えを発言できたか。	授業の様子 ノート整理
	* 他人の意見をしっかり聞き、考えを深めることができたか。	提出物(課題) 漢字スキル
	* 国語の学習に見通しをもって取り組み、生活に生かしていこうとする姿勢が見られたか。	

第 1 学 年 社 会 科

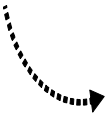
使用 教材	教科書（教育出版） ※教科書や 地図帳（帝国書院） 資料集は 学習ワーク（明治図書） 3年生まで 地理資料集（浜島書店） 使います。 歴史資料集（浜島書店）	持 ち 物	筆記用具 教科書（地理、歴史） ワーク A4ファイル（2穴） 資料集（地理・歴史） クロムブック
学 習 の 進 め 方	< 確かな学力を身につけるために > 社会科には覚える事項が多くあります。もちろん、その知識も大切ですが、語句を暗記するだけでは本当の力はつきません。 ・ 世の中のいろいろなことに 興味や好奇心を持って学習や生活をしていきましょう。（どこかで役立つ） ・ 教科書に出ている太字の言葉はしっかり覚えましょう。（テストにも出ます。） ・ 文章を読んだり、資料（地図や年表、グラフなど）を見て、情報を読み取る力を付けましょう。（最近の入試では必要な力） < 家庭学習 > 家庭で復習をすることで、知識が定着します。「分かった」「そうか」という気持ち、次の学習の意欲につながります。自分なりの学習の進め方を決め、実行していくことから始まります。 ・ 授業で学習した範囲を、教科書や資料集、ノートと照らし合わせながら見直しましょう。その日のうちに復習しておきましょう。 ・ 学習ワークなどで間違えた問題を解き直すなどして、同じ間違いをしないようにしましょう。一度では覚えられません。くり返し学習することが必要。		
学 習 の 注 意 事 項	・ 個人で調べ学習を行ったり、グループで話し合う場面があります。周りとうまに協力し、自分の学びに役立てましょう。 ・ 課題を丁寧に仕上げ、定められた期限までに必ず提出しましょう。 ・ くり返し学習することで自分の知識として身につきます。覚えることがたくさんありますが、集中して授業に臨みましょう。 ・ 資料集や地図帳をよく見ておきましょう。教科書には載っていない事も学習できます ・ 他の教科よりも使用教材が多いので、忘れ物がないようにしましょう。 ・ クロムブックを使って授業の振り返りなどを行います。 ※社会科の定期テストは教科書やワークの範囲が数十ページにもなります。計画的な学習が必要です。頑張りましょう！		

学習内容および評価規準

学習計画（予定）		
	時	単元計画
一 学 期		〈地理的分野〉
	7	第1編 世界と日本の地域構成
	6	第1章 世界の地域構成
		第2章 日本の地域構成
		〈歴史的分野〉
	3	第1章 歴史のとらえ方・調べ方
	4	第1節 私たちと歴史
	4	第2節 身近な地域の歴史を調べよう
	6	第2章 原始・古代の日本と世界
	3	第1節 人類の出現と文明のおこり
二 学 期	3	第2節 日本の成り立ちと倭の王権
		期末テスト
	3	第3節 大帝国の出現と律令国家の形成
	6	第4節 貴族社会の発展
		チャレンジテスト
		〈地理的分野〉
	10	第2編 世界のさまざまな地域
		第1章 世界の人々の生活と環境
		中間テスト
		第2章 世界の諸地域
三 学 期	7	①アジア州
	6	②ヨーロッパ州
	5	③アフリカ州
		〈歴史的分野〉
	6	第3章 中世の日本と世界
		第1節 武家政治の始まり
		期末テスト
	5	第2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化
	5	第3節 結びつく民衆と下剋上の社会
		チャレンジテスト
三 学 期		〈地理的分野〉
		第2章 世界の諸地域
	5	④北アメリカ州
	4	⑤南アメリカ州
	5	⑥オセアニア州
		学年末テスト
		〈歴史的分野〉
		第4章 近世の日本と世界
	4	第1節 結びつく世界との出会い
	5	第2節 天下統一への歩み
		チャレンジテスト

評価にあたって	
評価の観点	評価の方法
【主体的に学習に取り組む態度】 ○日本や世界の地理的事象、歴史的事象に対する関心を持ち、身近なものとして捉え、意欲的に学習に取り組んでいるか。 ○提出物を完成させて提出しているか。	授業での様子 ワークシート 提出物 作品 発表内容
【社会的な思考・判断・表現】 ○資料の中から必要な情報を適切に選択し、それらを活用することができるか。 ○資料の読み取りから適切な判断をして、考察した結果をレポートなどにまとめたり、発表したりすることができるか。 ○広い視野に立ち、諸事象を多面的・多角的に考察することができるか。	授業での様子 ワークシート 提出物 作品 定期テスト 小テスト
【知識・技能】 ○地理的・歴史的事象に関する基礎的な知識を身につけているか。 ○上記より、さらに深い知識を身に付けているか。 ○日本や世界の諸地域を比較し、共通性や特殊性を理解することができるか。	授業での様子 ワークシート 提出物 作品 定期テスト 小テスト

第1学年 数学科

使用 教材	- 教科書 新しい数学1〔東京書籍〕 - ワーク（問題集） 実力アップ問題集1〔東京書籍〕	持 ち 物	教科書・ノート・ワーク 筆記用具・定規 （必要に応じて） プリント・コンパス・三角定規・分度器 はさみ・のり
学習の 進め方	<確かな学力を身につけるために> 数学の学習は「問題を解く」ことだと思いませんか。数学でも、他の教科と同じように「どうなるのかな？」と予想したり、実際に実験をして確かめたり、みんなで話し合いをして、考えを深めながら解決したりすることなども、とても大切です。 【知っていることをもとにして、新しいことを「発見する力」を身につける】 与えられたことをただ学ぶのではなく、すでに学んだことをもとにして、どんなことがわかるかな、どうすればいいかな、どうなるかなと考えながら、学習に取り組みましょう。すると、新しい性質や考え方を自ら発見できるようになり、よりいっそう数学のよさや楽しさを実感することができます。 【学んだことを「利用する力」を身につける】 数学では、学んでいく中でたくさんの知識や考え方を身につけていきます。知識を増やしていくことは、たくさんの道具を持つことと同じです。しかし、道具を使わなければ意味がありません。この身につけた知識や考え方を数学の問題だけではなく、身のまわりの問題にも活用することでより確実なものになっていきます。 【自分の考えを「表現する力」を身につける】 数学に限らず、自分の考えをことばや文字で表現することはとても大切なことです。数学の学習では、自分の考えを伝えようとすることで、筋道立てて考える力が身につきます。 【「記録する力」を身につける】 黒板に書かれたことを写すだけではなく、先生の説明やほかの人の発言で、大切なこと、疑問に感じたこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう。そうすることで、学習したことがらをより深く理解できるようになります。 <家庭学習では> たくさん問題を解くことで数学の力は身につけていきます。宿題が出されたら、その日のうちに取り組みましょう。分からなくなった場合は、教科書からよく似た問題を探したり、解答を参考にしたりするなど、「問題の解き方」を理解しましょう。授業中に間違えた問題も同じように学習することで理解を深めましょう。		
学習上の 注意	授業の準備は早めに行い、忘れ物をしないようにしましょう。 ノート・問題集などの提出物は、期限を守って提出しましょう。 話し合うときには→自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えよう。 発表するときには→自信をもって、大きな声で発表しよう。 発表を聞くときには→ほかの人の意見と自分の意見をくらべながらしっかり聞こう。 まとめるときには→自分の考えがよく伝わるようにていねいな文字で、図や表なども利用してわかりやすくまとめよう。 【ノートの工夫】 ○×をつけるだけでなく、なぜ間違えたのかを書こう。 そして、もう一度解いて、同じ間違いをなくそう。 式だけでなく図もかいて考えよう。色をうまく使ってわかりやすくしておこう。 ※分数は2行を使って書くことで見やすく、計算もミスしなくなります。 <例>  $\frac{1}{2}$		

学習内容および評価基準

第1学年 学習計画				
月	章	節	時数	
4				
	0章			
5	1章 正負の数の	1 整数の性質	3	
		1 正負の数	4	
		前年度のCT	1	
		2 加法と減法	8	
		3 乗法と除法	9	
		4 正負の数の利用	2	
		章の問題	1	
		1学期期末テスト	①	
		26	予備時間(テストなど)	1
7	2章 文字と式	1 文字を使った式	8	
		2 文字式の計算	6	
		3 文字式の利用	3	
		章の問題	1	
		1学期のまとめとCT	1	
8.9	3章 方程式	2学期中間テスト	①	
		1 方程式とその解き方	7	
		2 1次方程式の利用	6	
		章の問題	1	
		15	予備時間(テストなど)	1
10	4章 比例と反比例	1 関数と比例・反比例	5	
		2 比例の性質と調べ方	7	
		3 反比例の性質と調べ方	7	
		4 比例と反比例の利用	3	
		章の問題	1	
		24	予備時間(テストなど)	1
		2学期期末テスト	①	
		5章		
		11	平面図形	1 図形の移動
2 基本の作図	8			
3 おうぎ形	2			
章の問題	1			
18	予備時間(テストなど)			1
6章				
12	空間図形	1 いろいろな立体	3	
		2学期のまとめとCT	1	
		2 立体の見方と調べ方	9	
		3 立体の体積と表面積	6	
		20	章の問題	1
		1		
23	7章 資料の 分析と 活用	学年末テスト	①	
		1 データの整理と分析	5	
		2 データの活用	1	
		3 ことがらの起こりやすさ	2	
		章の問題	1	
		10	予備時間(テストなど)	1
		1年生の復習と予備(「確認テスト」)	5	
計			140	

評価について		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	■発表 ■定期テスト、小テスト ■提出物 など
思考・判断・表現	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確実な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	■発表 ■定期テスト、小テスト など
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。	■授業中の態度、発表 ■ノート、ワークへの取り組み ■提出物 など

第1学年 理科

使用 教材	教科書 「新しい科学1」 (東京書籍) 補助教材 ・ワーク	持 ち 物	筆記用具 教科書 ノート ワーク *その他、指示のあった物
学 習 の 進 め 方	<確かな学力を身につけるために> ○学習へは、自分の良いところを伸ばし、苦手なことにも挑戦しようという気持ちを持って取り組みましょう。 ・分かったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。 ・分からないこと、疑問は自分なりに考え、調べたり、友人や先生などに聞いたりして、解決できるように努力しましょう。 ○授業は、学習課題を把握し、課題に対して前向きに取り組みましょう。 ・学習課題に対して、まずは自分の考えを持ち、友人の意見や実験の結果などと比較するなど、多面的に観たり考えたりする力をつけましょう。 ・ノートは後から見ても分かるように書き、メモをとったり図を加えたりなどの工夫をしたノート作りをしましょう。 ・全体や班など自分の考えを伝える場では、理由をつけて伝えるようにし、疑問に思ったことは、質問してみましょう。 <家庭学習> ○復習はその日のうちに行い、授業で学習したことを教科書、ノート、プリントなどを見直しましょう。 ○ワークや問題プリントは、分かるところは記入し、分からないところはノートや教科書で調べながら解いてから丸付けを行いましょう。 直しも必ず行い、分からないところは印をつけ、早めに解決しましょう。 ○授業や教科書の内容以外にも、自分が興味を持ったことがあれば、調べたりまとめたりしてみましょう。		
学 習 の 注 意 事 項	○授業の持ち物を忘れないようにしましょう。 ○授業には、姿勢や態度を正し、集中して臨みましょう。 ○授業中の私語は慎み、発言は当てられてから行いましょう。 ○ペアや班での活動は、協力して行いましょう。 ○発表は、周りの人の聞きやすさや見やすさを意識しましょう。 ○課題は丁寧に取り組み、期限までに完成させた状態で提出しましょう。		

<年間指導計画>

月	単 元 名
4	[物質] ○身のまわりの物質 1章 身のまわりの物質とその性質
5	2章 気体の性質 3章 水溶液の性質
6	4章 物質の姿と状態変化
7	[生命] ○いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類のしかた
8	2章 植物の分類
9	3章 動物の分類
10	[エネルギー] ○身のまわりの現象 1章 光の世界 2章 音の世界
11	3章 力の世界
12	[地球] ○大地の変化 プロローグ 1章 火をふく大地 2章 動き続ける大地 3章 地層から読みとる大地の変化
3	1年間のまとめ

<評価について>

観 点	評価の方法
主体的に学習に取り組む態度	・授業中のようす ・提出物、忘れ物 ・ノートの作成 ・レポート ・発言や発表 など
思考・判断・表現	・授業中のようす ・発言や発表 ・レポート ・各テスト など
知識・技能	・授業中のようす ・発言や発表 ・レポート ・各テスト など

第 1 学年 英語科

使用教材	Sunshine English Course Book1 副教材：エンジョイワーク 1（教育同人社）	持ち物	教科書 4 線の英語用ノート 2 冊（できれば 13 段） ワークブック
学習の進め方	＜確かな学力を身につけるために＞ ○授業に集中しよう。先生の説明や指示をよく聞き、習ったことは授業の中で覚えてしまうつもりで集中しよう。 ○恥ずかしがらずに大きな声で単語の発音や教科書の音読をしよう。 ○ペア活動やグループ活動の時は積極的に参加し、元気よく活動しよう。 ○間違いをおそれずどんどん英語を言ったり書いたりして使ってみよう。 ○人の間違いを冷やかしたり馬鹿にしたりするのはやめよう。他の人を大切にする人は自分も他の人から大切にされます。 ○ペアやグループで学習するときは積極的に教えたり教わったりしてお互いを高め合おう。 ＜家庭学習＞ ○予習として ①単語をノートに写し、その意味を調べて書く。 ②本文をノートに写し日本語の意味を書く。 ○復習として ①単語、本文などを声に出して読む。 ②本文の意味で違っていた部分を確認・訂正する。 ③単語や重要表現を何度も書いて見ないでも書けるようにする。 ○宿題は必ずその日のうちに済ませよう。課題は期日を守って提出しよう。 ＜定期テストでは＞ ○計画を立ててテスト勉強をし、余裕を持ってテストを受けよう。 ○普段から単語の練習や重要な文の意味を理解し、書けるようにしておこう。		
注意事項	○学習用具を忘れないようにしよう。 ○忘れ物をしたときは休み時間のうちに職員室に言いに行こう。 ○教科書、ワークブック、ノートなどの貸し借りは禁止です。		
評価	○「評価」は定期テストや小テストの結果、宿題などの提出物、授業中の学習態度、ペアやグループでの学習に対する積極性など英語の授業に関わることを総合的に判断して行います。		

<年間指導計画>

学 習 計 画		
	月	単 元 計 画
一 学 期	4	<u>Get Ready</u> 小学校でできるようになったことを確認しよう
	5	<u>1 友だちを作ろう</u> 自分や相手のことを伝え合う
	6	<u>2 1ーBの生徒たち</u> 自分や相手がすることを伝え合う
	7	<u>3 タレントショウを開こう</u> あなたの知らない私
	7	<u>4 Let's Enjoy Japanese Food</u>
二 学 期	8	<u>5 Pajama Day</u>
	9	持ち主をたずねよう
	10	<u>6 The Way to School</u> 話の組み立て方を考えよう
	11	<u>7 Research on Australia</u> 疑問詞のまとめ 学校案内をしよう
	11	<u>8 Happy New Year!</u> 絵や写真を英語で表現しよう 英検 IBA 受験
三 学 期	12	<u>9 A Trip to Finland</u>
	1	絵や写真を英語で表現しよう
	2	<u>10 Grandma Baba's Warming Ideas!</u> 英語でやりとりしよう 絵はがきを書こう
	3	1年生のまとめと振り返り

評価にあたって		
	評 価 の 観 点	主な評価の方法
知 識 ・ 技 能	○英語の発音の違いを聞き分けたり、自然な口調の英語を聞き取ることができるか。 ○単語や連語などの知識を身につけ、英文を読んで大切なことを逃さずとらえることができるか。 ○英文のしくみや語順、文字や符号などを使い分ける基礎的な知識を身につけているか。 ○言語や文化について理解し、その違いについての知識を身につけているか。	・ 定期テスト ・ 単元テスト ・ 小テスト
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	○自分が表現したい内容をや場面にあった正しい英語で言ったり、書いたりできるか。 ○聞き取った英語や場面に応じて英語で適切にやりとりできるか。 ○正しいイントネーションや区切りなどを適切を使い、その英文が意図することを適切に表現することができるか。	・ ペア、グループ学習 ・ 発表 ・ パフォーマンステスト ・ 定期テスト ・ 単元テスト ・ 小テスト
主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態	○英語のコミュニケーション活動に興味を持ち、積極的、協力的に取り組んでいるか。 ○学んだ英語を進んで使ったり、意欲的に発言や質問をしているか。 ○積極的に学習を進め、自己の学習を改善しようとしているか。	・ 授業態度 ・ ペア、グループ学習 ・ 発表 ・ 提出物 ・ 小テスト

第1学年 音楽

□学習教材および学習の進め方

使用教材	■ 中学生の音楽 1（教育芸術社） ■ 中学生の器楽（教育芸術社） ■ アルトリコーダー * 器楽の教科書とアルトリコーダーは3年間使用します。	持ち物	□ 教科書 2冊 □ アルトリコーダー □ A 4ファイル □ 筆記用具
学習の進め方	I：チャイムが鳴る前に自分の席に着席 II：出欠確認・最終持ち物チェック <u>（忘れ物があった場合は授業が始まる前までに言いに来ること）</u> III：本時の課題を確認 IV：身体ほぐし・発声練習など V：歌唱練習や鑑賞・創作活動などに取り組む VI：振り返り・次回の予告		
学習上の注意	◆ 授業は音楽室で行います。休み時間中に移動し<u>チャイムが鳴る前に</u>所定の席に着いていてください。 ◆ 毎回、本時の課題を確認し今日の授業で自分は何をすべきか考えて活動に取り組みましょう。 ◆ 忘れ物をしないよう、使用する物を前日に確認してください。 ◆ 私語をせず、話をしっかり聴きましょう。 ◆ グループ練習、パート練習などみんなで協力して活動を行いましょう。 ◆ 学習プリントや楽譜など配布物などは責任を持って管理し、すぐにファイルに入れるようにしましょう。 ◆ 合唱練習や器楽練習では自主的な活動が多くなります。各自の課題意識をしっかりとって、集中して練習に取り組んでください。 ◆ 一生懸命表現している仲間を応援しよう。（足を引っ張らない。） ◆ みんながのびのびと表現することができる環境をみんなで創ろう。 ◆ 美しいものを美しいと感じたり、感動したりする気持ちがとても大切です。 ◆ 耳をすまし、身体もフルに使おう。 ◆ 勝手に準備室に入ったり、音楽室内の機材に触れたりしないでください。 ◆ 授業の際の合唱活動でピアノ伴奏を依頼することがあります。協力をお願いします。		

□学習内容および評価基準

学 習 計 画			評価にあたって			
学期	月	単 元 計 画				
1 学期	4	・ オリエンテーション ・ 校歌の練習 ・ 発声基礎	知識・技能	◇実技テスト(歌唱・リコーダー・文化箏など)で楽譜の表記通りに演奏ができる。 ◇創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。 ◇正しい音程やリズム、豊かな声量や響きのある声、タンギング・運指 ◇音楽記号・強弱記号・曲想と音楽構造の理解	実技テスト 実技テスト・歌唱・演奏活動の様子 実技テスト・表現活動の様子 筆記テスト	
	5	・ アルトリコーダー基礎練習(音階練習) ・ 鑑賞曲				
	6	・ パート分け ・ 混声合唱の響き ・ 速度、強弱、曲想記号の確認				
	7	・ 文化祭合唱曲選曲 ・ 合唱練習				
2 学期	8	・ 合唱発表会に向けて各クラスで選択した合唱曲 全校合唱曲	思考・判断・表現	◇表現活動や実技テストにおける強弱・歌詞の表現など曲想の工夫(音楽記号や標語を理解し、表現につなげることができる。) ◇イメージを膨らませた表情豊かな表現の工夫 ◇作曲者の意図・心情を感じとり時代背景を理解して自分の感じたことを言葉や文章でうまくまとめることができる	実技テスト 単元テスト 学習プリント 鑑賞の様子 学習プリント	
	9					
	10	・ アルトリコーダー基礎練習 ・ 鑑賞曲 ・ 日本の民謡		主体的に学習に取り組む態度	◇授業規律に関わるマナー ◇活動の取り組みへの態度 姿勢・積極性 ◇活動場面の協調性 ◇主体的に取り組む姿勢 ◇提出物の内容	忘れ物 授業中の様子 練習・授業中の発言・発表活動や実技テストへの意欲的な取り組み 学習プリント
	11					
3 学期	12					
	1	・ 日本の歌曲「心の歌」				
	2	・ 鑑賞 ・ 文化箏「さくらさくら」				
	3	・ 卒業式式歌練習				

第1学年 美術

※学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 「美術1」(光村図書)	持ち物	○鉛筆(2B以上の濃いもの) ○教科書 ○クロッキー帳 ○ファイル ※以上4点は毎授業必須。他に单元ごとに ○定規 ○水彩絵具 ○彫刻刀 ○はさみ ○のり など(その都度連絡します。)
学習の進め方	「授業の主角」はみなさんです。 授業をつくるのは生徒の皆さんです。という、疑問に思ふ人もいるかもしれません。実際に授業を組んだり、評価をしたりするのは教師です。 でも、本当の意味での「授業の中身」にあたる「制作」や「鑑賞」を行うのはみなさんです。それぞれに「経験」や「知識」や「感動」として残る授業を創っていきましょう。教師は精一杯サポートします。 「美術」の授業は、「鑑賞」活動と「表現」活動があります。 ○「鑑賞」は、美術作品を観ることが主な活動です。「鑑賞」のみを行う授業もありますが、「表現」授業でも、制作の前や後に参考作品をたくさん観てもらいます。また、お互いの作品を観る時間も必ずとります。クラスメートの良い点を学びましょう。 ただ、教室の中だけでは限られたものしか観ることはできません。美術館などでは当然ですが、日頃からいろんな物に興味を持ち、「色」や「形」を観るのはもちろんのこと、物の「つくり」や「しくみ」、「目的」にも興味を持って「鑑賞」していきたいですね。 ○「表現」活動は、美術の授業の中心となる時間で、主に「絵画」「彫刻」「デザイン・工芸」などの制作を行います。集中して制作するのはもちろんの事ですが、自分で作業の進行具合や、身についた技術、課題となることなどを把握して、次の時間にのぞみたいものです。		
学習上の注意	一、忘れ物をするべからず！！ 前の日に持ち物を準備するときに、ファイルをチェックし前回の授業内容を思い出してください。万が一忘れ物をしたときは、朝のうちに先生に連絡してください。 一、時間前に教室移動、準備するべし！！ 休み時間は遊び時間ではありません。まずは、移動準備。作業時間をしっかり確保しましょう。 一、説明をしっかりと聞くべし！！ 道具の使い方、作業の進め方、まずは話を聞かないと何もできません。私語厳禁。 一、後片づけをしっかりとるべし！！ みんなで使う教室、道具です。きちんと後片づけをして、きれいに保つよう心懸けてください。		

※美術科の評価について

評価規準		
評価の観点		評価の方法
知識・技能	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、作品を全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して使っている。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって作業している。	○形や色彩、材料、光などの性質を生かして作品を制作している。または、その性質に着目して、作品を鑑賞している。【ワークシート、作品など】 ○自分の表現したいことのために、効果的に材料や用具を用いている。【ワークシート、制作過程の様子、作品など】 ○作品提出の期日までに間に合うように、見通しをもって作業している。【ワークシート、制作過程の様子など】
思考・判断・表現	・ものごとを見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に、表したいことや制作したい物について考えることができる。 ・作品の全体と部分との関係などを考え、構成を工夫して構想を練っている。	○自身の感じたことや考えたこと、今までの経験から自身の表現したいことや作りたいものの構想を練っている。【ワークシートなど】 ○題材に合わせて、作品の全体像や構成を考え、工夫して構想を練っている。【アイデアスケッチや下描きなどの制作の記録】 ○作品を楽しんで鑑賞し、自身の感じ方考え方を深めている。また、感じたことを言葉で表現している。【ワークシート、グループワーク、授業中の様子など】
主体的に学習に取り組む態度	・みることやつくることの楽しさや喜びなど、創造活動を通して感じ取ったことや、考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・より良い作品をつくったり、計画的に制作を進めたりするために、自身の制作態度を見直して改善しようとしている。	○期日を守って作品などの提出物を提出している。【提出物の提出状況】 ○感じ方や考え方を広げるために、積極的に作品を鑑賞したり、材料や道具の使い方を研究したりしている。【ワークシート、授業中の様子など】 ○鑑賞題材や、友人の作品を良いところや、もっと良くなる部分を積極的に探している。【ワークシート、グループワークなど】 ○作品を最後まで仕上げている。【作品】 ○制作時間、期間に見合った制作をしている。【作品】

望洋台中学校 保健体育科

学習教材および学習の進め方

使用教材	体育の授業時 【3年生】 ・実技教科書：WONDERFUL SPORTS 【1・2年生】 ・電子書籍：ステップアップ中学体育 保健の授業時 ・教科書：新中学保健体育 ・ワーク：保健体育ノート （どちらも学校保管が可能です）	持ち物	体育の授業時（体育館 or グラウンド） ・筆記用具 ・（必要に応じて）クロムブック ・縄跳び ※ファイル（学校で購入）、教科書は体育館で保管します 保健の授業時（学級の教室） ・教科書 ・筆記用具 ・ワーク ・（必要に応じて）クロムブック
学習の進め方および評価	□授業の流れ ≪用具の準備≫ 学習単元に応じて、先生の指示でグループ毎に用意することがある。 ≪開始≫ 整列し、学級総務の号令であいさつを行う。 ≪準備運動≫ 先生の指示で準備運動を行う。 ①縄跳び ②ストレッチ&筋カトレーニング ≪授業≫ 授業の課題を達成するよう、集中して取り組む。 ≪終了≫ 整列し、振り返りを行った後、学級総務の号令であいさつを行う。 □より良い授業を目指すために ★<u>人と関わり合う力をはぐくむ</u> … 一人で行うのではなく、学級の仲間と関わり合いながらお互いを高めていきましょう。体育は学級の雰囲気的大事となります。 ★<u>グループ学習で自分を高める</u> … グループには運動に関してさまざまな能力の仲間が集まります。解決のためには互いに協力し合いながら、課題に取り組むという姿勢が、自分の能力を高める第一歩です。		
学習の注意事項	＜授業の前に＞ 教科連絡：教科連絡係は前日に連絡を聞きに来てください。 ＜ジャージなどの着こなし＞ ・Tシャツの色には指定はありません。通気性が良く、スポーツに適したものを着てください。 ・授業に限り、指定外のハーフパンツを着用しても良いです。体育の授業以外は認められていません。 ・ジャージのチャックは名前の位置を基本とする。【学びに向かう姿勢：安全配慮】 ・暑いなら脱ぐ、着こなしを不自然にくずさない。おしゃれ意識は論外。【学びに向かう姿勢】 ・ジャージ内のパーカー着用は認めません。【安全配慮】 ＜その他＞ ・爪はしっかりと切りましょう。【けが防止】 ・長い髪（肩より長い）人はゴムで束ねます。必要以上に大きいヘアピンは認めません。【けが防止】 ・腕時計ははずしましょう【けが防止】 ・忘れ物や理由により、見学する場合は事前に先生に伝えましょう。見学者には手伝いをお願いすることがあります。		

第1学年 技術・家庭（技術分野）

使用教材	教科書： 技術・家庭 技術分野 (開隆堂)	持ち物	・教科書 ・ノート ・ワーク
学習の進め方	〈確かな学力を身に着けるために〉 ○学習の課題をとらえ、課題の解決に向けて取り組みましょう。 ○わからないところやできないところを明らかにし、学習活動や実習に取り組みましょう。 ○グループ学習では、疑問や意見を出し合い、お互いに学び合いましょう。 ○実習では、安全面を考え、グループで協力して作業に取り組みましょう。 ○学習活動について、自己評価したり、互いに評価し合ったりしましょう。 〈家庭学習〉 ○学校で学習したことや身に着けた技術を生活に生かしましょう。		
学習の注意事項	○チャイムが鳴るまでに、授業の準備をして席に着きましょう。 ○学習する内容は、ノートやワークシートをまとめましょう。 ○授業での発問には、積極的に発表しましょう。 ○グループ学習では、疑問や意見が出しあえるように協力して進めましょう。 ○実習では、安全面に十分に気を付けて、けががないように取り組みましょう。 また、お互いに教え合いながら協力して取り組みましょう。		

〈年間計画〉

月	単 元 名
4	ガイダンス
5	A 材料と加工の技術
6	1 生活や社会と材料と加工の技術、材料を利用するための技術
7	2 問題解決の技術、製作のための技術（木材、金属、プラスチック）
8	3 これからの材料と加工の技術
9	
10	
11	
12	D 情報の技術
1	1 生活や社会と情報の技術、情報の伝達、情報セキュリティと情報モラル
2	コンピュータとプログラミング
3	

第1学年 技術・家庭（家庭分野）

使用 教 材	教科書：技術・家庭 家庭分野（開隆堂） ワーク：技術・家庭科ノート 家庭分野	持 ち 物	・教科書 ・ワーク ・筆記用具 ・裁縫用具・エプロンなど実習用具 （使用する時に連絡します）
学 習 の 進 め 方	「家庭科ってどんな教科だろう？」 将来、ライフスタイルは様々ではあると思いますが、人として自立して生活していく時間はずっと続きます。 家庭科では、自立した生活を営む上で必要な知識や技能を学習し、生活の自立とともに、生きる力を身につけていく教科です。人とののかかわりを学ぶことで、環境や人権などについて考え「持続可能な社会」や日本のものづくりの文化・知識・技能に触れていきます。 確かな学力を身につけるために…大切にしてほしいこと 1 準備・後始末をしっかり・・・用具の準備や作業後の後始末だけでなく、次にどんなことをしようか、と見通しを持って実習をする。特に刃物や針などを使用するので安全に気をつけること。 2 計画と見通しをもつ・・・皆さんが家で自分で料理を作るときのことを考えてみましょう。まずはレシピをよく読み、材料と用具をそろえる、初めから終わりまでの手順を理解してそれから調理に入りますね。つまり、最初から完成までの見通しと計画をもって進めることが大切です。毎時間の授業でも、見通しをもって取り組むことが大切です。 3 自分なりの工夫が大切・・・授業で身につけた基本の事項を、さらに工夫し、自分の日常生活に役立てることが大切です。 家庭学習の方法 ・実習で学んだことを実生活で生かす。調理や衣服の補修、コンピュータなど、生活に密着した学習が主となるので、家庭でも積極的に取り組んでみましょう。 ・衣食住に関することはあまり意識せずにいる人も多いかもしれませんが、科学的根拠に基づいた大切な内容が網羅されている教科です。「なぜ？」を意識して知識や理論をまとめ、しっかり理解しましょう。		

<学習内容および評価規準>

学習計画			評価規準	
学期	月	単元計画	評価の観点	評価の方法
一 学 期	4	○ガイダンス 食事の役割と中学生の栄養の特徴 * 健康によい食習慣	知識・技能	授業中の活動
	5	* 食事の役割 * 栄養素の種類と働き		発表・発言
	6	* 中学生の栄養の特徴		実習中の活動状況
	7	クロスステッチ時計の製作 * クロスステッチの特徴 * 図案作り		学習プリント ワーク 課題レポート 作品 単元テスト
二 学 期	8	* 製作	思考・判断・表現	授業中の活動
	9			実習中の活動
	10	中学生に必要な栄養を満たす食事 * 食品に含まれる栄養素		学習プリント ワーク
	11	* 献立の工夫		課題レポート
	12	日常食の調理と食文化 * 食品の選択と購入		作品 単元テスト
三 学 期	1	生鮮食品と加工食品 *	主体的に学習に取り組む態度	ワーク
	2	* 地域の食文化		授業態度 プリント
	3	* 持続可能な食生活 ○1年間の学習のまとめ		課題の提出や作成状況 作品 発表・発言